

令和4年度

 新座市学校応援団の実践 



新座市教育委員会

令和5年3月

新座市教育委員会教育長あいさつ

新座市教育委員会教育長

金子 廣志

近年、いじめや不登校等、学校が抱える課題が多種多様化し、子供を取り巻く環境が急激に変化している中で、学校・家庭・地域が一体となって子供たちを育成していくことがより重要となっております。平成17年から始まった「学校応援団」の取組は、第3期埼玉県教育振興基本計画や埼玉教育の振興に関する大綱においても主要な取組として位置づけられ、推進されております。

このような中であって、学校応援コーディネーターとふれあい地域連絡協議会代表、各中学校区で選出された地域コーディネーターを中心とした学校応援団を、平成20年10月の「新座市学校応援団推進事業実施要項」を基に、市内すべての小・中学校に組織しました。事業実施14年目となった本年度は、2月に地域学校協働活動講演会をオンラインで開催し、文部科学省視学委員、三鷹市教育委員会教育長 貝ノ瀬 滋 氏に御講演いただきました。

講演会は、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進による、「学校を核とした地域力強化」について理解する場となり、今後一層の推進が期待されるところです。学校運営協議会は、学校運営の基本方針を承認し学校のガバナンスを強化するための場であり、自校の課題や子供たちの問題を把握し自校の課題に即した企画を熟議し、企画した内容を基に、学校応援団が活動していくことであるとのことでした。また、学校運営協議会では、子供たちが活躍できる場面を協議し社会貢献できる場をつくる必要があるとのことでした。まさしくコミュニティ・スクールと学校応援団、そして子供たちを含む地域が一体的に推進する活動であると実感しました。

各学校におかれましては、今後の学校応援団事業の推進のため、本実践集を十分活用していただければ幸いです。最後になりましたが、各学校の教育活動にお力添えいただきました学校応援団の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

も く じ

新座市教育委員会教育長あいさつ	・・・	1
もくじ	・・・	2
新座市学校応援団推進事業の概要		
成果と課題	・・・	4
推進事業組織図	・・・	6
学校応援団実行委員会開催要項	・・・	7
学校支援地域本部開催要項	・・・	8
学校応援団事業実施要項	・・・	9
学校応援団活動保険概要	・・・	10
学校別登録団体と活動人数	・・・	12
学校応援団活動回数	・・・	18
文部科学省資料「学校を核とした地域力強化プラン」	・・・	19
文部科学省資料「地域と学校の連携・協働体制構築事業」	・・・	20

各学校応援団の実践

大和田小学校	・・・	22	池田小学校	・・・	30	新座小学校	・・・	38
西堀小学校	・・・	23	新堀小学校	・・・	31	新座中学校	・・・	39
片山小学校	・・・	24	東野小学校	・・・	32	第二中学校	・・・	40
第四小学校	・・・	25	栄小学校	・・・	33	第三中学校	・・・	41
八石小学校	・・・	26	石神小学校	・・・	34	第四中学校	・・・	42
東北小学校	・・・	27	新開小学校	・・・	35	第五中学校	・・・	43
野火止小学校	・・・	28	栗原小学校	・・・	36	第六中学校	・・・	44
野寺小学校	・・・	29	陣屋小学校	・・・	37			

新座市学校応援団

推進事業の概要



令和4年度新座市学校応援団 成果と課題

学校応援団推進事業の目的

- 教員が子どもと向き合う時間を増やす
- 地域住民の学習成果の活用機会の拡充を図る
- 家庭・地域の教育力の活性化を図る

令和2年度	254団体	12,359人（登録人数）	令和2年	3月現在
令和3年度	253団体	11,165人（登録人数）	令和3年	12月現在
令和4年度	218団体	12,372人（登録人数）	令和5年	3月現在

1 令和4年度の成果

(1) 学校応援団の組織

- ・学校応援団活動の内容は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら取り組み、各校の様々な工夫により徐々にコロナ禍前の活動に戻ってきている。

(2) 安全面、学習のサポート

- ・学校内の環境整備、登下校時の安全サポート、学習支援により、安心安全な教育活動への手助けとなっている。
- ・様々な体験活動が、児童の情操教育におおいに寄与している。
- ・多くの保護者・地域の方に教育環境の整備のために活動していただき、児童生徒が感謝の気持ちを抱き、学校・家庭・地域のつながりをさらに強めることができた。

(3) 広報活動の推進

- ・学校応援団活動紹介動画を作成し、学校のホームページに掲載した。

(4) その他

- ・多くの学校で「読み聞かせ活動」が実施され、児童生徒の読書に対する興味関心の向上や多くの方から見守られていることの実感できる貴重な機会である。

2 令和4年度の課題

(1) 学校応援団の組織

- ・学校運営協議会と学校応援団の一体的な取組を企画・実施すること。

(2) 応援ボランティアの募集

- ・協力者が固定化・高齢化している応援団もあるため、後継者の育成や幅広い募集のあり方を考えていきたい。

(3) その他

- ・持続可能な組織づくり、年間指導計画等への位置づけによる、意図的計画的な取組にすることが必要。

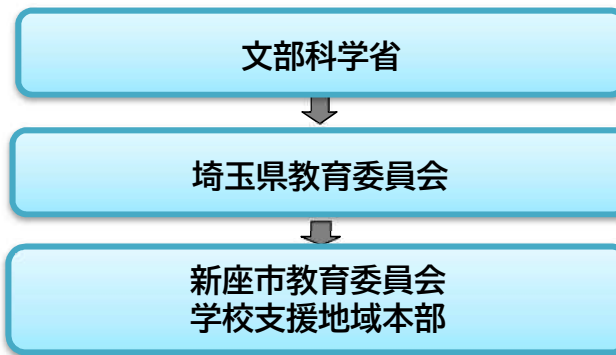
3 来年度へ向けて

重点課題

- 1 学校応援団の組織の充実（学校運営協議会との一体的な推進）
- 2 応援団員の募集方法、PR方法の工夫
- 3 学校応援コーディネーターの役割の明確化

- ◆ 学校運営協議会との連携
 - ・ 自校の課題に即した取組の実施（一体的推進）
- ◆ 各学校での学校応援団運営会議の定期的な開催（オンラインの活用）
 - ・ 学校応援団同士の連携、学校との連携、ボランティアの募集
- ◆ 学校応援コーディネーター研修会（地域学校協働活動研修会）の充実
 - ・ 講演会、実践発表会、情報交換会
- ◆ 学校応援団の活動の広報と効果的なボランティアの募集、参加人数の確保
 - ・ 幅広い層への募集方法を構築していく
- ◆ 学習支援活動の充実
 - ・ 年間計画への位置付けによる教職員との連携、学習支援
- ◆ 学校応援団への感謝を伝える機会づくり

新座市学校応援団推進事業組織図



新座市学校応援団実行委員会(15名以内)
 : 事務局(教育支援課)
 : メンバー 学識経験者(1名) ふれあいネットワーク会長(1名)
 地域関係者(6名: 地域コーディネーター) 学校関係者(2名) 行政関係者(3名)

各中学校区学校応援団

地域コーディネーター1名 ふれあい地域連絡協議会会長 各小学校学校応援コーディネーター

新座中学校区学校応援団	第二中学校区学校応援団	第三中学校区学校応援団	第四中学校区学校応援団	第五中学校区学校応援団	第六中学校区学校応援団
新座中学校 野火止小学校 陣屋小学校	第二中学校 大和田小学校 東北小学校 東野小学校	第三中学校 片山小学校 第四小学校 池田小学校 栄小学校	第四中学校 新開小学校 新座小学校	第五中学校 八石小学校 野寺小学校 栗原小学校	第六小学校 西堀小学校 新堀小学校 石神小学校
各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等	各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等	各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等	各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等	各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等	各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等

新座市学校応援団実行委員会開催要綱

(趣旨)

第1条 本市における学校応援団推進事業（以下「事業」という。）の普及啓発、事業の成果の報告等を実施し、事業の効果的な展開を図るため新座市学校応援団実行委員会（以下「実行委員会」という。）を開催することに関し必要な事項を定めるものとする。

(意見を求める事項)

第2条 実行委員会において意見又は助言を求める事項は、次のとおりとする。

(1) 各校における事業の支援に関すること及び、学校応援団間の情報交換に関すること。

(2) 事業の普及啓発等に関すること。

(3) 前2号に掲げるもののほか、事業に関し必要な事項

(参加者)

第3条 教育長は、別表に掲げる者のうちから、必要と認める者に対して実行委員会への参加を求めるものとする。

2 前項の場合において、教育長は、原則として、同一の者に継続して実行委員会への参加を求めるものとする。

(運営)

第4条 実行委員会の参加者は、その互選により実行委員会を進行するための委員長を定めるものとする。

2 委員長は、副委員長を委員の中から選任する。

3 教育長は、必要があると認めるときは、実行委員会に関係者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第5条 実行委員会の庶務は、学校教育部教育支援課長において処理する。

(施行の細目)

第6条 この要綱に定めるもののほか、実行委員会に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成20年10月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成21年6月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成30年1月1日から実施する。

別表（第3条関係）

1	学識経験者	学識経験者
2	新座市ふれあいネットワーク会長	地域関係者
3	地域コーディネーター（新座中学校区）	地域関係者
4	地域コーディネーター（第二中学校区）	地域関係者
5	地域コーディネーター（第三中学校区）	地域関係者
6	地域コーディネーター（第四中学校区）	地域関係者
7	地域コーディネーター（第五中学校区）	地域関係者
8	地域コーディネーター（第六中学校区）	地域関係者
9	新座市小学校長会 会長	学校関係者
10	新座市中学校長会 会長	学校関係者
11	学校教育部長	行政関係者
12	学校教育部副部長	行政関係者
13	中央公民館長	行政関係者

新座市学校支援地域本部開催要綱

(趣旨)

第1条 本市における学校応援団推進事業の推進に当たり、意見又は助言を求めるため、新座市学校支援地域本部(以下「地域本部」という。)を開催することに関し必要な事項を定めるものとする。

(意見を求める事項)

第2条 地域本部において意見又は助言を求める事項は、次のとおりとする。

- (1) 事業の企画、運営に関すること。
- (2) 各校における事業の支援に関すること。
- (3) 事業の普及啓発に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、事業に関し必要な事項

(委員)

第3条 地域本部の委員は、別表に掲げる職をもって当てる。

(運営)

第4条 会議を進行するための本部長には教育長が当たり、副本部長は学校教育部長が当たる。

2 地域本部の会議は、教育長が必要があると認めるときは、地域本部の関係者に出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第5条 地域本部の庶務は、学校教育部教育支援課において処理する。

(施行の細目)

第6条 この要綱に定めるもののほか、地域本部に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年10月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成30年1月1日から実施する。

別表(第3条関係)

1	教育長
2	教育総務部長
3	教育総務部生涯学習スポーツ課長
4	学校教育部長
5	学校教育部副部長
6	学校教育部教育支援課長
7	学校教育部教育相談センター室長

新座市学校応援団推進事業実施要項

新 座 市 教 育 委 員 会

平成20年10月22日教育長決裁

1 趣 旨

家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び家庭・地域の教育力の活性化を図る。具体的には、「学習への支援」「安心・安全への支援」「環境整備への支援」等の活動にあたるものである。

2 実施体制

(1) 学校支援地域本部について

教育長は、必要に応じて新座市学校支援地域本部(以下「地域本部」という。)を開催する。地域本部は、教育長を本部長とする行政関係者を委員とし、事業の企画、運営、各小・中学校に設置される学校応援団における事業の支援、事業の普及啓発等について意見又は助言を行う。

(2) 新座市学校応援団実行委員会について

新座市学校応援団実行委員会(以下「実行委員会」という。)は、学識経験者、地域関係者、学校関係者、行政関係者を委員とする。実行委員会が必要に応じて開催し、学校応援団間の情報交換、及び事業の普及啓発等について意見又は助言を行う。

(3) 各小・中学校学校応援団について

「学校応援団」は、各小・中学校における教育活動に協力し支援するために家庭・地域のボランティアで構成する。

各学校には、学校と学校応援団の調整役である学校応援コーディネーターは、家庭・地域ボランティアの代表から一人又は複数名を選出する。

(4) 中学校区学校応援団について

中学校区学校応援団とは、中学校区の学校応援コーディネーターとふれあい地域連絡協議会代表により構成する。

中学校区に、各小・中学校学校応援団の連携を図り、調整役となる地域コーディネーターを1名配置する。地域コーディネーターは、各学校の学校応援コーディネーターとふれあい地域連絡協議会の代表の中から選出する。

地域コーディネーターは実行委員会に参加し、各学校応援団の要望等を報告するものとする。

附 則

この要項は、平成20年10月23日から実施する。

附 則

この要項は、平成24年6月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から実施する。

令和4年度新座市学校応援団活動保険概要

1 名称

新座市学校応援団傷害保険及び賠償責任保険

2 目的

- (1) 学校応援団活動（学校行事や事業等）に関わる方がさまざまな急激かつ偶然な外来の事故によって障害（ケガといいます）を被り、医師の診断を受けた場合等に下記5(1)(2)(3)の内容のとおり、保険金を支給するものとする。
- (2) 学校応援団活動（学校行事や事業等）に関わる方が偶然な事由による事故によって第三者にケガを負わせてしまったり物品を破損してしまったりした場合等に下記5(4)の内容のとおり、保険金を支給するものとする。

3 条件

- (1) 学校管理下であること。
- (2) 学校主体となって組織した団体若しくは個人であること。

4 対象

別紙のとおりです。

5 補償内容

- (1) 死亡・後遺傷害保険金 450万円
（事故後180日以内に死亡又は後遺症が発生した場合）
- (2) 入院保険金 日額 3,000円（給付・期間日数180日限度）
- (3) 通院保険金 日額 2,000円（給付・期間日数90日限度）
- (4) 1事故支払限度額 5,000千円

6 事務手続き

- (1) 1か月の活動参加者を学校毎に、別紙「学校応援団活動参加者報告書」（様式2）にて活動内訳を集計し、翌月の10日までに教育委員会学校教育課に報告する。
- (2) 8月分も含めて、活動参加者がいない場合も必ず報告する。

7 事故処理

- (1) 事故が発生しましたら、速やかに「受付票」を作成の上、教育支援課までファックスを送信してください。記入内容は下記のとおりお願いします。
 - ① 負傷者の氏名・住所・電話番号
 - ② 事故の日時・場所・状況
 - ③ 怪我の箇所
 - ④ 病院名・電話番号
 - ⑤ 管轄の学校名・連絡先等

別紙

保険対象

No.	活動分類	主な活動内容
1	読み聞かせボランティア	読み聞かせ、読書指導、音読など
2	校舎内外パトロール	校舎内外のパトロールなど
3	クラブ活動支援ボランティア	クラブ（運動系、文科系）指導
4	授業支援ボランティア	授業においてのお話や、作品づくり（戦争体験、地域の様子、農家の話、職場、就職など） 水泳指導、草花観察、音楽鑑賞、授業において補助（ミシン）、国語（発声の仕方）、特別活動（薬物乱用）、理科（野鳥観察）など
5	学習支援ボランティア	ピアサポーター、学習プリント採点など
6	環境美化ボランティア	花壇づくり、除草作業、ペンキ塗装など
7	給食、清掃指導及び補助ボランティア	給食指導、生活指導補佐員など
8	福祉活動ボランティア	福祉活動
9	清掃活動（校地内外）ボランティア	校庭清掃、校舎清掃、ペンキ塗装、通学路清掃など
10	学校図書館ボランティア	学校図書館業務
11	体験学習ボランティア	農業体験、福祉教育体験など
12	学校行事支援ボランティア	儀式招待、行事招待など
13	農業支援員	農業支援員
14	学校運営協議会委員	学校運営協議会委員

新座市学校応援団学校別登録団体と活動人数（学校順）

※有償ボランティアは除く

新座市教育委員会
令和5年3月現在

学校番号	学校名	活動内容	人数
1	大和田小学校	料理クラブ活動支援ボランティア	1
		学校安全ボランティア	47
		俳句指導	10
		学校の花壇等花の管理	5
		ミシンサポーター	8
		読み聞かせ	40
		合計人数	111
2	西堀小学校	お琴クラブ支援	1
		西堀見守り隊	35
		わんわんパトロール	20
		登下校見守り隊	3
		西堀フィオーレ	25
		こすずめ隊	3
		図書ボランティア活動（さくらんぼ）	18
		家庭科学習支援隊	4
		木の子クラブ	4
		おやじの会	5
		花植ボランティア	2
		めんどり隊（1年生生活指導補佐）	10
		読み聞かせボランティア	20
		合計人数	150
3	片山小学校	クラブ活動支援	3
		登下校の安全パトロール	46
		あいさつ運動サポーター	
		1学校行事応援隊	170
		地域関連事業サポーター	37
		図書点検サポーター	73
		宿題プリント添削サポーター	
		学習プリント印刷ボランティア	42
		クリーンサポーター	34
		学校美化サポーター	1
		生活指導補佐ボランティア	0
		英語活動ボランティア	2
		家庭科授業支援	20
		校地周辺清掃サポーター	2
		片山小学校周辺通学路清掃	1
		読み聞かせボランティア	45
		ベルマーク集計ボランティア	120
		合計人数	547

4	第四小学校	安全ボランティア	56	
		登下校の安全指導（馬場町内会）	25	
		登下校の安全指導（畑中町内会）	15	
		「チロルの森」（ミニギャラリー）・行事支援	60	
		図書ボランティア	6	
		クリンネスボランティア	507	
		おやじの会	20	
		おはなしリーフ	45	
		合計人数		734
5	八石小学校	茶道クラブ指導	5	
		保護者による安全パトロール	233	
		野寺町会有志によるパトロール	180	
		地域の有志による登下校時の交通安全指導	25	
		ペース走記録会お手伝い	50	
		運動会会場整理等	30	
		除草活動	50	
		学校ピカピカ隊（仮称）	50	
		保谷アンサンブルによる音楽演奏会	40	
		読み聞かせボランティア	30	
		合計人数		693
6	東北小学校	北野三丁目防犯パトロール隊	60	
		シルバーパトロール隊	2	
		校内安全パトロール	577	
		アルミ缶回収	50	
		ぴかぴか隊	30	
		環境美化ボランティア	1	
		花壇のペンキ塗り	15	
		体験学習ボランティア	60	
		おはなしよむよむ(子どもと本を考える会)	28	
		合計人数		823
7	野火止小学校	和クラブ	1	
		防犯パトロール	79	
		朝のあいさつ運動サポーター	115	
		教育シンポジウムサポーター	19	
		学校行事支援ボランティア（運動会・持久走大会・全遠足）	97	
		図書ボランティア	48	
		教育農園等サポーター	126	
		学習支援ボランティア	30	
		花いっぱいボランティア	16	
		おやじの会	36	
		ピカピカサポーター	94	
		読み聞かせボランティア	31	
		合計人数		692
8	野寺小学校	登下校の安全パトロール	30	
		運動会応援団	495	
		学校図書館応援図書スタッフ	30	
		学習支援ボランティア	5	
		校舎内外の環境美化活動	52	
		学習指導の支援・活動への補助	150	
		読み聞かせ	54	
合計人数		816		

9	池田小学校	囲碁将棋クラブ	3
		地域防犯パトロールとパトロール隊との交流と日々の安全見守り	38
		学校行事サポート	100
		学生ボランティア活動	10
		東京ガス、東京電力、ベルク等の民間企業による出前授業	10
		学校美化活動	40
		ベルマーク活動	40
		3年まち探検の補助	16
		家庭科学習ボランティア	15
		1年生の昔あそび	12
		読み語り	16
		3年総合 高齢者との交流	15
			合計人数
10	新堀小学校	和太鼓クラブ指導	13
		登下校の安全パトロール	60
		防犯パトロール	342
		新堀一丁目見守り活動	8
		わんわんパトロールと新堀二丁目見守り隊	62
		新堀三丁目パトロール隊	8
		運動会サポーター	41
		持久走大会ボランティア	30
		学校公開のお手伝い	20
		図書ボランティア	32
		茶道	3
		おやじの会	10
		花壇作り	33
		ベルマーク運動	34
		大掃除サポーター	30
		花植え活動	30
		新1年生給食清掃のお手伝い	20
		家庭科支援(調理、ミシン)	10
		学校農園作業	2
		陶芸教室	3
読み聞かせボランティア	30		
	合計人数	821	
11	東野小学校	登下校時の安全パトロール	200
		父親の会(親の会)	10
		図書整理・貸出	150
		花壇の整備	150
		ぱくぱくッ子ボランティア(食育)	20
		授業内の活動支援	100
		校舎内外清掃ボランティア	60
		ぱたぼん	50
	合計人数	740	

12	栄小学校	卓球クラブ補助	1	
		クラブ補助	1	
		登下校の安全パトロール	30	
		校内外安全パトロール	201	
		夏季学校図書館開放	15	
		家庭科裁縫実習補助	20	
		花壇の整備	2	
		親子除草	109	
		お茶会	20	
		おやじの会	8	
		昔遊び	10	
		朝読書における読み聞かせ	21	
		合計人数		438
		13	石神小学校	スクールガード（防犯・交通安全）
おやじの会	24			
てしごとこんぺいとう（学校図書館）	23			
どろんこの会（環境美化）	19			
おはなしこんぺいとう（読み聞かせ）	14			
合計人数				531
14	新開小学校	防犯パトロール	200	
		安全マップづくりボランティア	30	
		児童の安全見守りボランティア	4	
		交通安全ボランティア	1	
		生け花ボランティア	5	
		看板づくりボランティア	10	
		七夕かざり製作・設置ボランティア	10	
		節句かざり作成・設置ボランティア	6	
		クリスマスかざり作成・設置ボランティア	10	
		フラワーガールズ	15	
		1年生生活補佐ボランティア	23	
		生活科 公園探検ボランティア	30	
		生活科 ザリガニつりボランティア	30	
		生活科 公園への冒険ボランティア	30	
		家庭科 ミシン学習ボランティア	60	
		親子 除草ボランティア 施設補修	200	
		読書 ボランティア	23	
		合計人数		687
		15	栗原小学校	安全パトロール
地域安全パトロール隊	65			
見守り・あいさつ応援団	30			
学校図書館応援団	150			
環境整備応援団	105			
お助けママさん	48			
学習・行事応援団	74			
読み聞かせ応援団	23			
合計人数				813

16	陣屋小学校	クラブ活動支援ボランティア	4
		シルバーパトロール	15
		中原防犯パトロール	30
		図書室掲示ボランティア	20
		学習支援ボランティア	40
		スモールガーデン	50
		清掃活動ボランティア	50
		読み聞かせ（おはなしびっくり箱）	20
			合計人数
17	新座小学校	すくすく学習支援	22
		学習支援ボランティア	20
		学校ギャラリー管理運営	5
		給食ボランティア	15
		学校農園支援	20
		家庭科ミシン操作支援	10
		校外学習サポーター	20
		読み聞かせ	20
	合計人数	132	
18	新座中学校	中学校部活動指導員（剣道）	1
		中学校部活動指導員（野球）	1
		校舎内外見回り	840
		あいさつ運動	60
		地域交流（作品展示）	1
		学校の環境を考える会	10
		除草作業	200
		読み聞かせ	30
	合計人数	1,143	
19	第二中学校	下校時の安全パトロール	275
		朝の声かけ運動	250
		福祉体験活動	10
		環境整備活動	40
		おはなしの雫	25
	合計人数	600	

20	第三中学校	夏祭り地域見回り	80
		朝の声かけ	70
		学校行事支援活動	85
		図書ボランティア	50
		グリーンボランティア	45
		修繕	30
		読み聞かせ	25
		合計人数	385
21	第四中学校	あいさつ運動	100
		学校協力ボランティア	45
		園芸ボランティア	88
		学校行事場外整理	15
		読み聞かせ	20
		資源回収ボランティア	30
		合計人数	298
22	第五中学校	部活動ボランティア(吹奏楽)	1
		部活動ボランティア(卓球)	1
		部活動ボランティア(剣道)	1
		校外パトロール	45
		朝あいさつ活動	105
		体育祭パトロール	70
		五中フェスタ活動	70
		緑化活動ボランティア	118
		合計人数	411
23	第六中学校	声かけボランティア	180
		園芸ボランティア	34
		合計人数	214

市内合計人数	11,938
--------	--------

新座市学校応援団活動回数(学校順)

令和5年3月時点

学校番号	学校名	クラブ活動支援	安全、防犯 (校舎外)	安全、防犯 (校舎内)	学校行事支援	学校図書館	授業・学習支援	環境美化	給食、清掃指導 及び補助	(清掃活動 校地内外)	体験学習	読み聞かせ	農業支援員	福祉活動	延べ回数合計
1	大和田小学校	0	629	0	0	0	35	0	0	2	0	0	0	0	666
2	西堀小学校	1	57	3	25	0	0	0	0	20	16	0	0	0	122
3	片山小学校	0	950	0	0	0	0	0	51	0	0	20	0	0	1021
4	第四小学校	0	120	6	6	0	0	0	0	3	0	0	0	0	135
5	八石小学校	0	425	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	425
6	東北小学校	0	24	32	0	0	5	0	0	26	0	0	8	0	95
7	野火止小学校	2	336	0	7	1	23	0	0	22	0	0	0	135	526
8	野寺小学校	0	80	0	0	0	14	0	0	16	0	0	0	0	110
9	池田小学校	0	178	0	0	4	56	0	0	20	1	0	7	0	266
10	新堀小学校	0	688	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	688
11	東野小学校	0	50	0	5	0	30	0	0	28	0	0	0	0	113
12	栄小学校	0	20	3	0	0	4	0	0	20	0	0	0	0	47
13	石神小学校	0	800	0	12	0	11	60	0	0	0	0	0	0	883
14	新開小学校	0	11	0	0	11	23	0	0	0	0	0	0	17	62
15	栗原小学校		0	10	30	0	5	9	0	13	0	0	4	0	71
16	陣屋小学校	4	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42
17	新座小学校	0	0	0	0	22	0	1	0	5	0	0	0	0	28
18	新座中学校	10	0	7	0	0	12	0	0	11	0	0	0	0	40
19	第二中学校	12	98	25	0	0	32	0	0	33	0	0	8	0	208
20	第三中学校	11	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	35
21	第四中学校	154	0	0	0	0	57	0	0	15	2	0	0	0	228
22	第五中学校	14	0	15	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	31
23	第六中学校	15	0	200	0	0	36	1	0	0	0	0	6	0	258

総合計延べ回数

6100



学校を核とした地域力強化プラン

◇一億総活躍社会の実現と地方創生の推進には、学校と地域が連携・協働し、学校を核として地域社会を活性化していくことが重要。

学校を核として地域の特色を生かした事業を展開することで、まち全体で地域の将来を担う子供たちを育成するとともに、地域の教育力を向上し、一億総活躍社会と地方創生の実現を図る。



地域力強化プラン

・地域の特色ある活動を柔軟に支援
・様々な活動を組み合わせて実施

【地域と学校の連携・協働体制構築事業】
(6,737百万円)

各地方自治体において、地域と学校の連携・協働体制を構築するために、「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」と「地域学校協働活動」を一体的に推進するとともに、地域における学習支援や体験活動などの取組を支援する。

【地域における家庭教育支援基盤構築事業】
(75百万円)

地域人材の養成や家庭教育支援チームの組織化など家庭教育支援体制の構築、保護者への学習機会の提供や相談対応・情報提供に加え、児童虐待への対応を含む支援員等に対する研修の強化、保護者に寄り添うアウトリーチ型支援の実施など地域における家庭教育支援の取組を推進する。

【地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業】
(338百万円)

「スクールガード・リーダー(防犯の専門知識がある者)」「スクールガード(学校安全ボランティア)」の活用等により、地域ぐるみで子供の安全を見守る体制を整備し、地域社会と連携した学校安全に関する取組を通じて、地域力の強化を図る。

【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】(47百万円)

就職やキャリアアップにおいて不利な立場にある高校中退者等を対象に、高等学校卒業程度の学力を身に付けさせるための学習組織及び学習支援を実施する地方公共団体の取組を支援する。

【健全育成のための体験活動推進事業】(99百万円)

宿泊を伴う様々な体験活動を通じ、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育むとともに、自己有用感を高め、自らの役割を意識させるなど一人一人のキャリア発達を促す。また、地域人材や地域資源を活用することにより、異世代間交流や都市農村交流を図り、地域の活性化につなげる。

【地域を担う人材育成のためのキャリアプランニング推進事業】
(8百万円)

「キャリアプランニングスーパーバイザー」を都道府県等に配置し、地元企業等と連携した職場体験やインターンシップ及び地元への愛着を深めるキャリア教育の推進等を通じ、地元で就職し地域を担う人材を育成する。

【地域と連携した学校保健推進事業】(8百万円)

養護教諭の未配置校等に対し、経験豊富な退職養護教諭をスクールヘルスリーダーとして派遣し、学校、家庭、地域の関係機関等の連携による効果的な学校保健活動の展開を図り、地域力の強化につなげる。

→ 学校を核とした地域力強化・将来を担う子供たちの育成を通じて、一億総活躍社会、地方創生を実現



地域と学校の連携・協働体制構築事業（旧 地域学校協働活動推進事業）

地域社会のつながりや支え合いの希薄化等による**地域の教育力の低下**や、学校が抱える課題の複雑化・困難化といった社会的課題の解決を目指すとともに、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた基盤として、**地域と学校が連携・協働**し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていくため、「**コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）**」と「**地域学校協働活動**」の**一体的な推進**が必要。

目標	2022年度までに全小中学校区において、幅広い地域住民や地域の多様な機関・団体等の参画を通じた地域学校協働活動の推進を図る。その際、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）との一体的な推進を図る。	
事業内容	「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた基盤となる体制を構築するために、「 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度） 」と「 地域学校協働活動 」を 一体的に推進 するとともに、地域における学習支援や体験活動などの取組を支援する。 「地域学校協働活動」を推進するため、地域と学校をつなぐ「 地域学校協働活動推進員 」を配置し、地域の実情に合わせた様々な地域学校協働活動の総合化、ネットワーク化を目指し、組織的に安定的に継続できる「 地域学校協働本部 」の整備を推進するほか、コミュニティ・スクールの導入に向けた取組を支援する。これらの活動を通じ、各地方自治体における地域と学校との連携・協働を進め、 社会全体の教育力の向上及び地域の活性化 を図る。	
補助要件	①コミュニティ・スクールを導入していること、または導入に向けた具体的な計画があること ②地域学校協働活動推進員を配置すること	補助対象 学校・家庭・地域を取り巻く喫緊の課題の解決に向けた取組に重点化 ①「学校における働き方改革」を踏まえた活動 ②地域における学習支援・体験活動



各学校応援団の実践



新座市立大和田小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

大和田小学校応援団では、できる「人」ができる「こと」をできる「時」に、できる「範囲」で御支援をいただいている。学校応援コーディネーターが主となってまとめる応援団に加え、今年度よりPTA組織が役員制からボランティア制になったことにより2つの両輪が連携して、保護者・地域・学校が一体となって活動している。

2 事業の計画

- ・学校安全ボランティア…毎日、児童の登下校等の見守り活動を行う。
- ・農業支援員…学校教育農園を管理し、児童の野菜栽培活動を支援する。
- ・学生ボランティア…支援を必要とする児童の生活・学習を支援する。
- ・花植えボランティア…花植えや水やり等、花壇や鉢植えの整備を行う。
- ・ミシンサポーター…高学年の家庭科においてミシンの技術指導を行う。
- ・学校運営協議会委員…年4回、教育活動への助言や学校評価を行う。
- ・読み聞かせボランティア…月1回程度、業前に読み聞かせを行う。

3 事業の実際

「読み聞かせボランティア」の活動の様子

毎月1回程度、地域や保護者のボランティアによる読み聞かせを行っている。今年度より対面での読み聞かせを再開したがボランティアの人数が限られているため、オンライン配信と対面との両方で実施をしている。大規模校で全校が集まる機会は減っているが、オンラインによる取組により、読み聞かせの中でギター演奏を取り入れたり、学校長のおすすめの本を全校に発信できたりと、児童同士が情報共有できるよい時間を作ることができている。

11月の読書月間では、貸出冊数が多い学級に表彰をしている。今年度は特に低学年で本が好きな児童が多い傾向が見られたが、このような読み聞かせの活動を通して、児童がたくさんの本に出会うきっかけとなり、豊かな心の育成につながっている。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

農園で収穫した大根は、特別支援学級の児童が生活単元学習の一環で初めて販売に参加し、地域の方との交流ができた。農業支援員の方の御支援のもと、児童が「育てた」「収穫した」ことは、児童と地域、保護者をつなぐ活動であると感じている。

(2) 課題

PTAのボランティア制に変更したことに伴い、活動前の早い段階から協力者を募集する必要が出てきている。各学年の学習予定を明確に周知をしていくことで、学年を越えて幅広く協力者を募集できるようにしていきたい。

新座市立西堀小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

学校・保護者・地域が一体となり、児童の健やかな成長を目指した学校の教育活動を推進することで、相互の信頼関係を構築する。学校が主体となり、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するとともに、学校・地域・保護者の教育力を高める。

2 事業の計画

- (1) めんどり隊……………低学年、特別支援学級の芋掘り等、体験活動の補助
- (2) 読み聞かせボランティア…保護者や地域の方による月1回の朝の読み聞かせ
- (3) お琴クラブ支援……………地域の方によるお琴クラブの支援（毎回）
- (4) 図書ボランティア…図書室の掲示物の作成、学校図書及び図書室の整理
- (5) 西堀見守り隊……………子どもたちの登下校見守り、学区内パトロール
- (6) わんわんパトロール…犬の散歩の際に子どもたちの安全の見守り
- (7) こすずめ隊……………低学年の懇談会の際に、図書室で子供たちの見守り
- (8) 花植えボランティア…学校花壇への花植え、水やり、草取り等
- (9) 木の子クラブ……………工作や自然のものをつかった作品づくりの補助

3 事業の実際

「木の子クラブ」によるリースづくり補助

1 月に芋掘り体験をした。その際にめんどり隊の方が子供たちが農園に来る前につるを切り、掘りやすいように整備して下さった。芋掘りが始まると子供たちに芋の見つけ方や掘り方のアドバイスを下さり、どの子も楽しく活動に取り組むことができた。最後にはつるを子供の人数分リース型に整えて下さり、クリスマスに向けたリース作りへと活動の幅を広げて下さった。

その後、特別支援学級では木の子クラブ6名の方とともにリースづくりをした。イモのつるに付ける本物の枝や木の実、葉をご準備くださり、一気に豪華な出来栄となった。用具の安全な使い方を教わりそして見守って下さったお陰で、終始穏やかな雰囲気であった。



4 取組の成果と今後の課題

本校の学校応援団は、あらゆる教育場面に地域の方々が多く参加し、活動が長年に渡って受け継がれてきている。団体の高齢化と世代の交代が課題であるが、今後も各団体やコーディネーターの方と連携をとりながら、よりよい活動につながるよう調整をはかっていきたい。

新座市立片山小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

片山小学校応援団は、家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、児童の健やかな成長の基盤づくりをすすめるとともに、家庭・地域の教育力の向上及び活性化を図ることを趣旨としている。実践のねらいは次の3点である。

- (1) 学校・家庭・地域ぐるみの元気な活動の推進。
- (2) 家庭・地域の教育力の向上と学校への積極的な活用。
- (3) 地域の文化や人との交流を通しての児童の健全育成。



読み聞かせ応援団による読み聞かせ

2 事業の計画

- (1) 学校応援コーディネーターの選任(PTA 会長)
- (2) 学校応援団の募集及び編成
 - ・ 自宅でベルマーク応援団・学校でベルマーク応援団
 - ・ グリーン応援団・読み聞かせ応援団
 - ・ 自宅で学校図書室装飾応援団
 - ・ 図書の点検応援団・執行部応援団・卒対・広報応援団
- (3) 各団の活動実践

今年度も、感染症拡大防止対策のため、クラブ活動支援、英語活動支援は実施を見合わせた。

PTAが中心となって、家庭でもできる学校応援活動を工夫して募集及び編成した。

- (4) 次年度に向けた計画と活動の反省

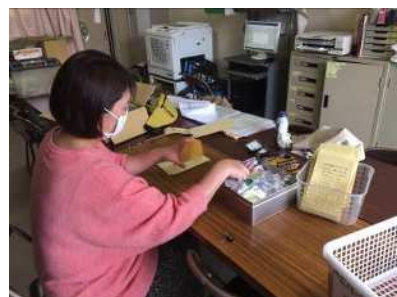


グリーン応援団による落ち葉掃き

3 事業の実践

【自宅でベルマーク応援団】

家庭から集められたベルマークをPTA執行部の方々が、「自宅でベルマーク応援団」に仕分け用の封筒を配付し、メーカー毎に仕分け作業を依頼する。その後、学期に一度「学校でベルマーク応援団」の方々が集まり、ベルマークを整理添付して応募作業を行う。今年度はこれらのPTAによる学校応援団活動が『埼玉・教育ふれあい賞』として表彰された。



PTA執行部による仕分け用封筒の準備

4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果
 - ・ 学校内の環境整備、学習支援、登下校時の安全サポートにより、安心安全な教育活動への手助けとなっている。
 - ・ 感染症拡大防止を図りながら実施できる応援活動をPTA執行部の方が中心となり募集及び運営を行った。
- (2) 課題
 - ・ 今年度も感染症拡大防止のため、クラブ活動支援員及び英語活動支援員等地域の方々との交流ができる活動を控えた。次年度以降は、地域の方との繋がりを大切にしながら、社会情勢を鑑み活動再開を検討していく。

新座市立第四小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

「保護者や地域に開かれた学校」は、本校の目指す学校像の一つである。

本校は、開校当時から地域とともにあり、親しまれてきた学校である。地域の皆様の温かい思いに守られ・支えられている学校である。PTA活動も活発で、学校応援団活動と連動している。児童の安全確保、校内環境整備などを通して学校の教育活動の充実に貢献していく。

2 事業の計画

- ・「チロルの森」運営… 地域の方や専門家の芸術作品を定期的に展示する。
- ・読み聞かせ活動… 地域ボランティア団体学期1回ずつ、保護者ボランティア学期2回、朝、読み聞かせを行う。
- ・図書室整備活動… 月1回、図書室の掲示や飾り付け、図書整理等を行う。
- ・スクールガード安全活動… 毎日、児童の登下校の安全を確保する。
- ・「クリンネス」活動… 除草や窓拭き、エアコン清掃等を行う。
- ・「おやじの会」活動… 学校環境整備等を行う。
- ・環境応援団…花壇の水やり、学校花壇の植替え、管理を行う。

3 事業の実際

クリンネス活動では、感染症対応として、児童と保護者の清掃活動をする時間帯とずらして行った。野外活動でも人数を制限した。多くの方の参加により普段なかなか除草できない場所や、児童だけでは難しい窓、エアコンの清掃等を行っており、環境整備には欠かせない活動となっている。



4 取組の成果と今後の課題

地域の方々の支援活動が、校内及び校外で展開された。コロナ禍ではあるが少しずつ活動の枠を広げ、地域の安全確保や学校への意識や協力体制も高まり、自主的に児童の「登下校時安全見守り」に出てくださいる方々もいた。また、学校を支援するため、地域の方が読み聞かせボランティアの中心役として立候補してくださるなど、来年度に向けての協力体制が整いつつある。PTA アンケート結果から、来年度はさらに学校ボランティア活動が整備され、より参加しやすく、より活動しやすく、より楽しく行うため準備を進めているところである。今後、学習支援応援団やフラワーグリーン応援団等を立ち上げるために取り組んで行く。

課題としては、環境整備や力作業などの活動に父親や男性の支援を増やすことである。機会ごとに呼びかけをして、人材を拡大していきたい。

新座市立八石小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

学校・家庭・地域の教育力を高め、子どもたちの生きる力をはぐくむことを目的に、日々連携・協力して学校応援団活動に取り組んでいる。実践のねらいは、学校・保護者・地域が、三位一体となり、本校の学校教育目標である「なかよく、かしこく、たくましく」を、率先垂範し笑顔あふれる学校づくりを推進することである。

2 事業の計画

- (1) 茶道クラブ活動指導 … 4・5・6年のクラブ活動の指導を月3回程度行う。
- (2) 野寺町会安全パトロール … 登下校の見守り、校区内のパトロールを行う。
- (3) シルバー見守り隊 … 児童の登下校の見守り、校区内のパトロールを行う。
- (4) 環境美化ボランティア … 学期に1回校舎内外の清掃活動を行う。プランターの花植え、花壇整備、校庭の除草と学校敷地内の草刈り等、学校環境の美化活動を行う。
- (5) 学習・行事応援団 … 学習支援（ミシン学習）
- (6) 読み聞かせボランティア
- (7) 保谷アンサンブルによる演奏会



3 事業の実際

今年度は、3年ぶりに読み聞かせボランティアの活動を行った。一昨年度から今年度1学期までは、コロナウイルス感染症予防の観点から活動を見合わせていたが、2学期からは、感染対策を講じ、1回毎の実施クラスを減らした上で実施することとした。



4 取組の成果と今後の課題

読み聞かせボランティア、保谷アンサンブルの演奏会等、これまでの八石小学校の学校応援団活動に戻った部分が多く、応援団の方の温かいご協力により、児童はじめ学校全体はさらに活性化した。今後も保護者・地域と教職員の連携をよりいっそう深め、組織拡充を図り、コミュニティスクールの核の一つとして絆を深める学校応援団の充実を図っていきたい。

新座市立東北小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校の学校応援団は、学校・家庭・地域が一体となって子供たちの教育を支援するために、家庭・地域の教育力を結集していく組織である。「できる人ができる時にできることを」をモットーに、学校応援コーディネーターが中心となり、よりよい学校づくりのために活動している。

2 事業の計画

○ぴかぴか隊

- ・花壇の整備や除草、樹木の剪定等、校舎外の整備を実施

○おはなしよむよむ

- ・月2回の朝の時間に読み聞かせ、学期1回の学級文庫の整理、年に数回の1単位時間を使ったお話の会（特別読み聞かせ）を実施



○安全・防犯ボランティア

- ・北野・東地区パトロール隊を母体とし、校外安全パトロールを実施（月～金曜日1日2回、児童の登下校の見守り）

○学習ボランティア

- ・家庭科の授業でのミシン実習や校外学習（地域見学など）の付き添い、漢字検定の補助、なわとびのカウント等、児童の学習をサポート

3 事業の実際

○学習ボランティア

2学期の6年生の総合的な学習の時間「私たちの国の歴史文化再発見」において、地域在住の方に日本舞踊・華道の講師となっただき、日本の伝統文化について指導をいただいた。



子供たちは、それぞれの体験を通して礼法やしきたりなど日本の伝統を学ぶことができた。また、相手を思いやる心の大切さを学び、現代にまでつながる日本の文化を再発見した。

4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果 コロナ禍で活動が制限される状況もあったが、様々な体験活動を通して学校教育が充実し、環境が整備された。
- (2) 課題 コーディネーターが毎年変わるため、地域の新たな人財の発掘が困難である。学校運営協議会との連携を図っていく。

新座市立野火止小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

「元祖コミュニティ・スクール指定校」として、「地域とともに豊かな学びを創造し、地域の絆を深める学校づくり」の推進をめざして信頼関係の構築を図るとともに、地域の豊かな教育力を学校の教育活動に積極的に取り入れることで、保護者・地域に開かれた学校づくりをめざしている。

2 事業の計画

- (1) 見守り隊…毎日、登下校時に児童の安全確保のための見守り活動を行う。
- (2) 学習支援ボランティア…①新1年生の生活・給食指導の補助。
②家庭科のミシンの学習補助。
③生活科見学の際の交通安全補助。
- (3) 花いっぱいボランティア…毎週火曜日、校内の花壇等の植え替え、手入れ、草刈り等を行う。
- (4) クラブ活動指導員…クラブ活動の際、茶道の指導を行う。
- (5) 図書ボランティア…月1回、図書室の整備及び掲示物「のびっこの木」の作成、図書室の季節の飾り付け。
- (6) 読み聞かせボランティア…月1回、朝読書で10分間読み聞かせを行う。
- (7) 農業体験支援ボランティア…5年生「のびっ子田んぼ」の田植え、稲刈り、脱穀、精米までの学習支援を行う。
- (8) おやじの会…今年は運動会での会場の片付けを行う。

3 事業の実際

- (1) 読み聞かせボランティアの活動の様子

感染拡大防止に十分配慮しながら、季節や発達段階にあった本を読み聞かせしてくれている。読み聞かせの仕方についての講習も行っている。メンバーには在校生・卒業生の保護者、地域の方、卒業生、地域の大学生などもいる。読み聞かせにより豊かな心を醸成している。



- (2) 図書ボランティアの活動の様子

季節に合った図書室の飾り付け、読書量を増やすための取組などを図書部や図書委員会と連携して行っている。学校全体の読書活動の活性に大変貢献していただいている。



4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果…活動者募集により新たなメンバーが増え、読み聞かせの仕方のポイント講習などにより不安だった方も安心して取り組んでいる。質の高い読み聞かせをしていただいている。
- (2) 課題…持続可能にするため、各ボランティアとの連絡調整や人員募集、無理のない活動について工夫していきたい。

新座市立野寺小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校は、学校環境整備への協力、学習活動の補助、児童の安全確保への協力を通して、保護者・地域・学校が共に連携して学校教育活動を一層充実し、コミュニティ・スクールとして児童の育成を図っていくことをねらいとしている。

2 事業の計画

(1) 学習環境づくりの活動

- ・運動会の運営手伝い（リボン回収、片付け等）
- ・学校花壇の花植え
- ・学期末の大掃除補助 窓清掃 エアコンフィルター等清掃
- ・図書室の飾りつけ 蔵書整理やリスト作り、読み聞かせ

(2) 教科等の学習活動

- ・農業学習支援
- ・裁縫及びミシン指導等の学習補助

(3) 安全を確保する活動

- ・校外学習における安全確認
- ・毎月第一水曜日 朝のあいさつ運動
- ・地域安全パトロール

3 事業の実際

本年度から、毎週木曜日に応援団による「読み聞かせ」が始まった。市内の読み聞かせサークルの方にもご協力いただき、毎週2学年ずつ実施できた。また、図書室内にポストを設置し、児童が感想を自由に記述できるようにした。「読み聞かせをしてもらうのが楽しみ」「読んだことのない本を読んでもらえて嬉しい」などの声を届けることができた。



4 取組の成果と今後の課題

応援団による読み聞かせは、子供たちの豊かな心を育み読書への興味関心を高めるのに効果的だった。一方通行にならないよう、子供たちの反応を届けることで、応援団の方々の活動継続への原動力にもつながった。今年度は、他にもなわとび回数カウント手伝いや校外学習引率など、活動が広がったのが大きな成果である。一方、協力していただけるのが一部の保護者である状況が課題となっている。より多くの方々に活動していただけるよう、考えていきたい。

新座市立池田小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

- 学校教育目標「健康で よく学ぶ 心のゆたかな子」の具現化を図る
- コミュニティ・スクール推進のための取組として、地域を知り、関わり、地域の人材・環境を学校に取り込む
(今年度もコロナ禍のため可能な限り実施)

2 事業の計画

参加する保護者・地域の方々個々の特性を活かした活動を可能とするチーム編成による学校教育への支援を要請する。

- (1) 花いっぱい・食育応援チーム
 - ・年間を通じて花に囲まれた学校環境の整備。PTA 環境美化部を中心とした、花の植栽や休日の水やり等も含めた管理
 - ・学校教育農園の活用。農業支援員との連携による食育の推進
- (2) 学校行事・学習応援チーム
 - ・運動会、芸術鑑賞教室、持久走大会等の行事サポート
(今年度もコロナ禍のため学校行事の精選と縮小)
 - ・朝の読み語りなど、年間を通して継続的に行う支援
 - ・家庭科のミシン授業補助 (今年度も見合わせ)
- (3) 子供見守り応援チーム
 - ・下校時や放課後等の地域の見守りサポート
 - ・全家庭による見守りパトロール

3 事業の実際

学習応援チームによる読み読みの様子

各学期2回、年間6回、朝読書

毎週水曜日(8:30~8:40)の時間を活用し、学級ごとに行われている。

誰でも取り組めるように学校図書館図書整理員と連携し、資料を作成。取組を充実させている。市内読み聞かせボランティアに依頼し、サポートいただいた。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

コロナ禍であったが工夫することで活動に取り組めた。少人数で学校図書館環境の整備や学校農園を活用した食育の推進など、保護者・地域住民それぞれの立場から学校にご尽力いただけた。

(2) 課題

少人数精鋭で臨んだが、参加者が一部で偏りができている。学校行事等への早めの情報提供に心がけたい。

新座市立新堀小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

児童の健やかな成長を目指して、学校・保護者・地域が一体となり、地域の教育力を学校の支援につなげるために、学校応援団を組織している。三者の連携を深めることをとおして学校教育の充実を推進するとともに、学校・保護者・地域それぞれの教育力を高めていくことをねらいとする。

2 事業の計画

- (1) 学校行事応援団…校外行事の安全指導・学年行事の運営補助
- (2) 農園応援団…学校教育農園の維持、管理、農業体験活動の補助
- (3) 見守り応援団…登下校中の安全の見守り、声かけ
- (4) 環境整備応援団…校内の清掃作業、校庭の除草作業
- (5) 学校運営協議会…教育活動への意見具申、学校運営の評価、校内巡視

3 事業の実際

- (4) 環境整備応援団…校内の清掃作業、校庭の除草作業

7月から10月の期間、月1～2回を目安に、主に週休日に校庭の除草作業をしていただいた。全ての児童が安全に学校生活を充実させることができるよう丁寧に作業していただくとともに、福島の復興支援として育てたひまわりの管理も丁寧に行っていたことができた。夏休み中に見事に咲いたひまわりを見て、子供たちの心が豊かになるとともに、応援団への感謝の気持ちを高め、自主的にお礼を伝える子供たちが増えた。



4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果

安全な学校環境を維持することができた。児童が地域の方と知り合い、共に作業したり感謝の気持ちを伝えたりする機会となった。

- (2) 課題

活動内容について、学校からの要望によるものだけでなく、地域の方の思いや願いを聞き取り、活動をより充実させていく。

新座市立東野小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

- ◎「地域とともにある学校づくり」を目指す
- ・学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくり
- ・地域の多様な経験や技術を持つ人たちとの連携・協働（外部人材の活用）
- ・子供たちの安心、安全な環境の確保
- ・できる人が、できる事を、できる時に、できる範囲で

2 事業の計画

- ・ちょこボラ…全教室のエアコン清掃、その他学校が必要とする活動
- ・東野ガーデナー…体育館前花壇、あおぞら農園の管理、支援
- ・ばたぼん…本の読み聞かせと通信の発行
- ・図書ボランティア…図書室の壁面装飾制作、本の修理や書架の整理
- ・農業支援員…1～3年生・あおぞら学級における農園活動の支援
- ・漢字検定お手伝い…全学年希望者に向けての漢字検定の運営補助
- ・父親の会…希望者へのミニ四駆教室の企画・実施
- ・シルバー見守り隊、スクールガードリーダー…児童の登下校の見守り活動

3 事業の実際

東野ガーデナーとして体育館前の花壇及びあおぞら農園の管理・支援を行っている。具体的には、季節ごとに栽培委員会やあおぞら学級の児童と一緒に植栽をしたり、土日も含めローテーションで水やり、除草を行ったりしている。12月には一つの節目としてあおぞら学級にて「東野ガーデナーさんお礼の会」を開催し、あおぞら学級の子供たちから日頃の感謝やお礼を伝えることができた。



4 取組の成果と今後の課題

- コロナ禍において各団体の方々が工夫をし、活動を続けることができた。
- 各団体の取組により、教職員にとっても負担軽減につなげることができた。
- もっと活動したいとの声も上がっているので、参加者自身も楽しめるよう活動内容を工夫し、今後も取組を継続できるよう連携を深めていく。
- 学習場面における支援を広めていきたい。

新座市立栄小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校では、教育課程を広く保護者や地域に開くことで、学校教育目標を共有し、児童の健全育成を目指している。そして、児童が多くの人と関わり、認められる経験をすることで、自己肯定感を育み、将来の地域社会・ふるさとを担っていける人材が育てられると考えている。

2 事業の計画

○学校応援団協議会

学校の代表者、学校応援団の代表者とPTAで組織し、連絡調整をする。

- (1) おはなし隊—毎週木曜日、朝の時間に読み聞かせを行ったり、季節ごとに図書室の装飾をしたりする。
- (2) 学習支援—家庭科（手縫い・ミシン）の補助をはじめ、算数の個別指導など様々な教科の補助をする。
- (3) 花壇の世話—植栽計画及び花壇の世話をする。
- (4) 見守り隊—登下校時の安全パトロールを行う。
- (5) 環境美化—芝生の除草、外トイレの掃除をする。
- (6) おやじの会—廊下のポリッシャーがけ、ワックスがけをする。

3 事業の実際

- (1) おはなし隊による読み聞かせ

新年度、クラスが軌道に乗り始める5月より読み聞かせをしていた。低学年では月に2回、それ以外の学年では月1回以上の活動のおかげで、本校では本好きな児童がたいへん多い。栄小に無くてはならない存在である。



4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果

コロナの蔓延状況によっては、日程の調整をしていただくこともあったが、支援を継続していただくことができ、学習活動を充実させることができた。

- (2) 課題

参加者が一部の保護者に固定していたり、偏っていたりすることがあるので、引き続きHPや学校だより等でPRし、参加者を増やしていきたい。

新座市立石神小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

学校教育目標を具現化するにあたり、PTAを核とした学校応援団を組織し、活動にあたっている。コロナ禍においても、保護者や家庭・地域と連携した教育活動を行い、児童の健やかな成長に寄与することをねらいとし実践している。

2 事業の計画

- ・おはなしこんぺいとう…月1回、朝読書の時間に読み聞かせを行う。
- ・てしごとこんぺいとう…定期的に図書室内の装飾や本の修理、蔵書点検の補助を行う。また、図書イベントで使用するしおりを作成する。
- ・どろんこの会…学校前の「花の小路」を整備する。委員会児童と植栽活動を行う。
- ・おやじの会……運動会の保護者誘導やテント等の片付け作業や敷地内の花壇・農園管理を行う。
- ・防犯パトロール…地域の方が中心となり、登下校の見守りを行う。

3 事業の実際

「おはなしこんぺいとう」の活動の様子

毎月第1木曜日の朝読書の時間に読み聞かせを行っている。「おはなしこんぺいとう」のメンバーを中心に、当番の保護者や地域の方（卒業生の保護者や学生を含む）が各クラスを訪問している。児童たちも毎回出会う本を楽しみに待っており、読み聞かせの時間を一緒に本に親しみ、読書の幅の広がりを見せている。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・コロナ禍においても、昨年度までの経験を踏まえ、今できる活動について工夫しながら実践することができた。

(2) 課題

- ・各応援団の参加者が増えるよう、幅広く募集し、手立てを考え実践する必要がある。

新座市立新開小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

学校・家庭・地域が一体となって子供たちの育成と学校の活性化を図り、家庭や地域の教育力の向上を目指すとともに、開かれた学校づくりを推進している。

今年度のPTAのスローガン「笑顔でチャレンジ～つながる新開～」のもと、学校・家庭・地域の三位一体の連携により、潤いと活力のある笑顔あふれる新開小学校にすることを目的とする。

2 事業の計画

- (1) 校内清掃ボランティア…校地内施設の整備（今年度は扇風機とエアコン清掃）
- (2) 読み聞かせ「おはなしひろば」…月1回、朝の時間帯での読み聞かせ
- (3) 生活補佐員…新入学生の給食配膳の補助（例年4月～5月初旬まで）
- (4) 花植えボランティア…児童玄関前にて季節ごとの花の植え替え作業
- (5) 全校遠足見守りボランティア…地域の公園を巡る全校遠足で、安全の見守り
- (6) 飾り作成・設置ボランティア…七夕や節句における飾りの作成及び設置
- (7) ミシン学習ボランティア…家庭科ミシン学習の支援及び補助
- (8) 児童の安全見守りボランティア…登下校時における児童の安全見守り活動
- (9) 授業支援ボランティア…授業において配慮が必要な児童への支援

3 事業の実際

《飾り作成・設置ボランティア》

年3回児童昇降口の廊下に七夕や節句の飾り付けを設置している。活動人数は、保護者と地域の方々を合わせて20名ほどである。七夕飾りの竹はわざわざ林まで足を運び、切り出して用意してくださった。全児童・教職員の願いを書いた短冊が飾られた竹は圧巻で、立ち止まり、短冊を眺める児童が多かった。次回は雛飾りが予定されており、児童はとても楽しみにしている。



4 取組の成果と今後の課題

- (1) 取組の成果
 - ・学校応援団の活動を通じて、児童・教員・保護者・地域の方々の交流を図ることができた。
 - ・児童の安全の確保や学びの環境を整えていただくことで、学習意欲の向上、豊かな心の育成、大人と絆の深まり等、良い影響をもたらした。
- (2) 今後の課題
 - ・負担軽減のため、お知らせや参加者の募集方法等改善が必要である。
 - ・学校応援団コーディネーターの後継者の育成と地域人材の更なる発掘が必要である。

新座市立栗原小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校は、「やりたい時にやりたいことから」を合い言葉に、各応援団の枠にとらわれず広く様々な活動に参加してもらえるように進めてきた。コミュニティ・スクール6年目を迎え、「開かれた学校づくり」実現のため、学校・家庭・地域の連携を強化することをねらいとして、実践に取り組んだ。

2 事業の計画

- (1) 学習・行事応援団…学習支援（ミシン学習補助・かけ算九九検定）
学校行事の支援（運動会の準備・片付け等補助、持久走大会の安全見守り活動）
- (2) 学校図書館応援団…年5回程度、図書室・図書室前廊下壁面の装飾、児童の絵の貼り替え(階段)
- (3) 読み聞かせ応援団…月1回、全学級において読み聞かせの実施、読み聞かせ通信発行
- (4) 環境応援団…飼育園芸委員会の児童と共にプランターの花植え
花壇整備を中心に学校環境の美化活動
- (5) 地域応援団…児童の安全確保のための登下校見守り活動の実施
- (6) 広報応援団…広報紙の発行
- (7) 学校運営協議会…年5回、教育活動を参観し意見具申や学校運営の評価

3 事業の実際

学校図書館応援団による壁面掲示の様子

年に5回10時から2時間程度、図書室と図書室前廊下壁面の掲示物を作成している。

物づくりが好きな方や手先が器用な方が集まり、お互いに交流しながらパーツを作ったり、掲示をしたりして、楽しんで活動に取り組んでいる。教職員の「おすすめ本紹介」カードを顔写真付きで作ったり、読んだ本の冊数を玉入れのようにしてクラスで競う掲示にしたりと、工夫があふれているので、児童もとても楽しみにしている。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

学校応援団の様々な活動を通して、教職員と保護者・児童との交流が深まっている。

(2) 課題

参加者が一部の保護者に偏る傾向があるので、ホームページや学校便り、保護者間での誘い合いなどでPRし、新規参加者を増やしたい。

新座市立陣屋小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

「地域や保護者と共にあるコミュニティ・スクール陣屋」の推進のために、家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制を構築し、教職員が子供たちと向き合う時間を確保すること、家庭・地域の教育力に活性化を図ること及び教育環境に潤いを持たせることをねらいとしている。

2 事業の計画

- ◇読み聞かせボランティア…「おはなしびっくり箱」として、毎月1回、各教室で読み聞かせを行う。今年度は、昼休みに実施。
- ◇図書掲示ボランティア…季節やテーマに合わせて図書室の壁などを装飾する。
- ◇学校安全ボランティア…登下校時、児童の見守り活動を行う。
- ◇クラブ活動支援ボランティア…和太鼓クラブ、茶道クラブそれぞれに外部指導者が関わり、専門的な指導や助言を行う。
- ◇学校運営協議会委員…保護者や地域との連携の橋渡し役として学校評議員、学校関係者評価委員の機能を併せ持つ。また、学校運営の基本方針の承認を行うなど、コミュニティ・スクールの中核機能を担う。

3 事業の実際

- ◇読み聞かせボランティア「おはなしびっくり箱」

毎月1回、各クラスにボランティアの方が入ってくださり、読み聞かせをしていただいている。各学年の発達段階や興味関心に合わせた本や、季節に合わせた本など、選書も工夫してくださっている。そのため、子供たちはとても集中して聞き、終わった後には自然に拍手がおこっている。とても楽しみにしている時間である。

読書離れが進む中、本や活字に親しみを持つためのとてもよい機会となっている。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・子供たちの学びが、豊かに、充実したものになる。(読み聞かせ・クラブ活動など)
- ・教職員以外の意見や考えをきくことができる。

(2) 課題

- ・読み聞かせを、昼の時間に移動した。そのため、人員の確保が難しくなっている。

新座市立新座小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校は新座団地の中にあり、学校応援団の活動は活発である。「できる人ができる時にできる事を。」を合言葉に、多くの方に学習支援、学校農園やギャラリー管理運営、図書室支援などの実践に取り組んでもらい、開かれた学校づくりを実践している。

2 事業の計画

- (1) 学校農園支援…学校農園（野菜作り、田植えから脱穀まで）
- (2) 家庭科ミシン操作支援…5・6年生ミシンの操作支援及び、点検
- (3) 読み聞かせ…月1回全学級において読み聞かせ実施
- (4) 図書室支援…月1回程度 本の整理及び補修、図書室の飾り作成
- (5) 植栽活動…学校花壇の整備
- (6) わいわい（旧おやじの会）…2か月に1度、校庭の草取り、ポリッシャーがけ
- (7) 学校ギャラリー管理運営…はなみずきギャラリーの装飾
- (8) 給食ボランティア…4月中旬から下旬、1年生の給食配膳補助
- (9) 学習支援…家庭科、総合的な学習の時間、生活科見学の付添い

3 事業の実際

- (1) わいわい（旧おやじの会）の活動の様子

新座小学校「おやじの会」は、今年度より「わいわい」と名称を変更し活動している。「みんなで楽しくわいわいとやっていきたい。」そんな願いが込められている。

2か月に1度のペースで活動を行い、草むしりや廊下のポリッシャーがけの中心に、運動会の前日準備も行った。児童たちとの直接の交流はないが、児童たちは、きれいになった学校に感動するとともに、活動を行ってくれた方々に感謝の気持ちを抱いていた。



4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果

コロナ渦での学校活動だったが、読み聞かせや学校農園支援、図書室支援など様々な活動を行い、児童と保護者・地域との交流ができた。

- (2) 課題

活動によっては集まりにくいものもあったので、参加者を増やしていきたいようにしていきたい。

新座市立新座中学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

県内第一号のコミュニティ・スクール中学校として精力的に取り組んでいる本校は、学校教育目標「強く 明るく 考える」と経営方針「地域が元気（地域の誇り、地域の財産、コミュニティ・スクール）」を推進しており、学校の活性化と教育力の向上を目指して、保護者と地域がより一層一体となって学校を支援する様々な活動を実施している。

2 事業の計画

時 期	事業内容
年 間	さわやか運動、読み聞かせ、学校運営協議会、部活動ボランティア、校舎内外見回り、農業支援員
随 時	学校の環境を考える会（中庭整備、花の水やり、除草作業、エアコン・扇風機清掃） 新座グリーンキャンペーン（人工芝設置プロジェクト）

3 事業の実際

【新座グリーンキャンペーンの様子】

地元企業と奉仕委員会の合同事業として昨年度より「人工芝設置プロジェクト」を進めている。学校応援団による除草作業後の校地を有効活用することを目的とし、除草作業箇所の縮小、授業や部活動におけるトレーニング等の使用、生徒の外遊びや憩いの場所として利用できる場所の確保につながっている。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

学校の取組についてPTAを通して相談した結果、協力いただける企業が見つかり、この作業体験を通して地元企業と交流する機会を得た。

「自分たちにとって心地よい居場所づくりを生徒自身が行い、継続して維持・管理する姿勢を学ぶ」この取組を継続していくことで保護者と地域、生徒の手によって、学校施設の充実が図られている。

(2) 課題

人工芝設置前に除草作業と整地、樹木の伐採等が必要なため、諸活動との日程調整や定期的なメンテナンスが必要である。

新座市立第二中学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

家庭・地域と協力して、生徒の健やかな育成を図り、生き生きとした元気な学校づくりを目指す。

- (1) 学校・家庭・地域が一体となった教育活動を展開することにより、活力のある学校づくりを推進する。
- (2) 生徒の登下校時における安心・安全の見守り活動を推進する。
- (3) 地域にある有益な教育力を学校教育に活用する。

2 事業の計画

- (1) 環境係：6月、11月と2月の花植えと年間を通して花壇の手入れを実施する。
- (2) 朝の声かけ係：登校時に校門で声かけ活動（あいさつ運動）に参加する。
- (3) 下校パトロール係：生徒の最終下校時刻後に学区内をパトロールする。
- (4) 読み聞かせボランティア「おはなしの雫」：月3回（学年ごと）、金曜日の朝読書の時間に読み聞かせを実施する。
- (5) ピアサポーター：大学生による生徒への学習支援を行う。



3 事業の実際

今年度は昨年度同様コロナ禍により、以前行っていた花の種の配布等については実施できなかったものの、他の活動については徐々に再開していくことができた。特におはなしの雫（読み聞かせ）は6月より再開でき、応援団の方からも再開時には、喜びの声を多くいただいた。中学3年生も中学校入学以来、初めての中学校での読み聞かせを経験することができ、豊かな心を育むことができた。

4 取組の成果と今後の課題

(1) 取組の成果

読み聞かせについては、小学生向けの絵本の読み聞かせではあるが、毎回、生徒たちの楽しそうに聴いている姿が見られる。学級閉鎖になったクラスにもオンラインで配信することができた。

(2) 今後の課題

本校のホームページ上に学校応援団の方が作成した学校応援団紹介動画を掲載した。応援団員をさらに募り、連携を強化し、コロナ禍でもできる活動の充実を図っていく。

新座市立第三中学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

「創立50周年」を迎え、「生徒一人一人の力が伸びる学校」の実現をめざして信頼関係の構築を図るとともに、コロナ禍でもアイデアと工夫で地域の豊かな教育力を学校の教育活動に積極的に取り入れ、保護者・地域に開かれた学校づくりをめざしている。

2 事業の計画

- (1) 学校運営協議会…年4回実施し、教育活動への意見具申や学校運営の評価を行う。
- (2) 朝の声かけボランティア…年4回活動し、8:00～8:30正門～サンロードであいさつを行う
- (3) グリーンボランティア…年2回、校内の花壇等の植え替え、手入れ、草刈り等を行う。環境委員会、PTAボランティアと連携。
- (4) 部活動指導員…部活動の際、専門的指導を行う。
- (5) 学校行事ボランティア…体育祭、合唱祭、ふれあいフェスティバル（4年ぶりの開催）の準備、駐車場係等をサポートする。
- (6) 読み聞かせボランティア…月2回、朝読書で10分間読み聞かせを行う。
- (7) バザーボランティア…10月の三中バザーの準備、運営を行う。
- (8) 地域ふれあいクリーン作戦…「黒目川クリーン作戦」を名称変更、自宅付近から通学路のゴミを拾い三中で集約。ふれ協と連携。

3 事業の実際

「グリーンボランティア」の活動の様子

感染拡大防止に十分配慮しながら、6月・11月に校内の花壇等の植え替え、手入れ、草取りを実施した。日常の水やり・整備を担当する環境緑化委員会の生徒は、卒業後も地域に貢献しようとする豊かな心が醸成されている。



4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果…感染拡大防止対策を十分にとった上で、ご高齢の方の来校はご遠慮いただきながら、可能な限りの活動で保護者・地域との絆が深まった。
- (2) 課題…持続可能な活動とするため、各ボランティアとの連絡調整や人員募集、来校しなくてもできる活動等を工夫、開発していきたい。

新座市立第四中学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

- 本校の校訓である「自主・自律・協同」の具現化のため、学校応援団を組織し、地域で子どもをはぐくむ魅力ある学校づくりを推進する。
- 学校応援団は、学校環境整備への協力・支援、生徒の安全確保への協力・支援などをおして生き生きと学ぶ生徒の育成と、学校教育活動の一層の充実、さらに登下校等の安全確保に資することを目的とする。

2 事業の計画

- (1) 学校応援団の活動（園芸、資源回収、読み聞かせ、あいさつ運動 等）
- (2) 学校応援団の活動の実践
- (3) 今年度の反省と次年度の活動への検討

3 事業の実際

四中が生徒指導で大変であった時代に発足し「読み聞かせボランティア」は、読み聞かせ活動によって「子ども達の心を耕す」ことを目的にし、「クローバーの会」と名付けられた。このボランティアは本校の学校応援団の創設時から参加を頂いている方々の他に、年度ごとに新たに加わって活動されている方々による継続的な活動となっている。活動時間は8:30からの各教室の「朝読書」時間での10分間。月2回程度の水曜日が活動日となっており、年2回の選書会にて活動内容を調整している。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

本年度は、昨年度に引き続き例年どおりの活動を展開することは難しい状況にあった。しかし、コーディネーターを中心に、できることを模索して、進めることができた。少ない機会ではあるが、地域の方が学校に足を運んでくださったり、一緒に活動を行うことで、地域への所属感を高めることができた。地域との関わりが少ない中学生だが、たくさんの方々から見守られていることを実感できる機会となっている。

三年ぶりに再会した「クローバーの会」による「読み聞かせ活動」では、落ち着いて聞く姿勢ができており、本校生徒指導の安定と授業規律の育成を支えていることは間違いない。生徒達の心の面でも、たくさんの方々から見守られていることを実感できる貴重な機会となっている。

(2) 課題

学校応援団の活動に対して、参加者の拡大を図るとともに、地域と連携した組織づくりを進めていけるように努めていきたい。また、社会情勢を注視しながら、教育的意義を念頭に置き、活動を精査したり、実施方法を工夫したりして学校応援団活動を進めていきたい。

新座市立第五中学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校の学校教育目標は「明朗・清潔・信頼」であり、この目標の具現化や開かれた学校づくりの推進のため、学校での教育活動を支援する保護者や地域住民によるボランティア活動組織として「第五中学校 学校応援団」がつけられている。

実践の主たるねらいは、以下のとおりである。

- (1) 家庭・地域の教育力の向上と学校教育への積極的な活用
- (2) 学校・家庭・地域の活力を束ねる活動の推進
- (3) 地域の人々との交流を通じた生徒の健全育成である。

2 事業の計画

- (1) 学校応援コーディネーターの選任
- (2) 学校応援団の募集および編成
『学校応援団 学校へGO！一人一役 登録アンケート』集計・編成
- (3) 具体的な活動計画（日時の決定）
- (4) 具体的な活動実践
【緑化活動・学校農園・あいさつ運動・学校行事支援等・読み聞かせ】
- (5) 成果の検討

3 事業の実際

○【おはなしの泉】の活動の様子

おはなしの泉がスタートし4年が経とうとしています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できない時期もありましたが、再開されるとすぐに生徒は絵本、紙芝居の虜になりました。また、大変お忙しい中にもかかわらず、五中の生徒のために、ローテーション表を作成していただきました。毎月1回程度ですが、「〇年生のみなさんへ」と書いたプリントも作成していただき配布させていただきました。原作、絵、文、内容紹介等です。最終回には、ボランティアの方より、「よく見て聞いていただいて本当にありがとうございました。」と書き添えてくれました。生徒から、ボランティアの方に「いつも楽しい読み聞かせをしていただきありがとうございます。」等の生徒からの感想をお渡ししました。今後もよろしく願いいたします。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 取組の成果

・この活動を通して、地域との交流が深まり、大切な人とのであいを体験しつつ、豊かな心を養っている。

(2) 今後の課題

- ・地域との協働をさらに図り、いろいろな活動を広めていくこと(コロナ対策を講じて)
- ・学校応援団のメンバーの方が高齢化とともに固定化しているので、幅広く募集をしていく必要がある。



新座市立第六中学校の学校応援団の実践記録

1 実践のねらい

本校の教育目標は、「自主・責任・明朗」である。教育目標の具現化のため、学校応援団を組織し、地域で子供をはぐくむ開かれた魅力ある学校づくりを推進する。学校応援団は、学校環境整備への協力・支援、生徒の安全確保への協力・支援などをおして生き生きと学ぶ生徒の育成と、学校教育活動の一層の充実、さらに登下校等の安全確保に資することを目的とする。

2 事業の計画

・声かけボランティア「朝のコミュニケーション運動」

校区内7か所で年4日間、生徒が気持ちの良いあいさつができるよう、あいさつ運動を展開する。

・園芸ボランティア・農業支援員

年2回生徒会（美化・緑化委員）とともに、花壇の花植え活動を行うとともに、定期的に学校農園を管理し、生徒に栽培活動の指導を行う。

・学校行事支援ボランティア

来校者が多数となる体育祭・合唱コンクールなどの行事を中心に、受付、駐輪場整理など、運営面での支援を行う。

・読み聞かせボランティア

毎月1回の活動为目标に、朝の読み聞かせを行う。（今年度は3学期に実施予定）

・防犯パトロール「わんわんパトロール隊」

ペットの散歩を登下校の時刻に合わせて実施し、地域ぐるみで生徒の安全を見守る活動を展開する。

・学校運営協議会

授業参観をおして、生徒の実態を把握した上で、教育活動への助言を行う。
（年6回の実施）

3 事業の実際

「園芸ボランティア・農業支援員」の活動の様子

園芸ボランティアには、昨年度、新規の登録があり、2学期より花壇の整備・草刈り・剪定作業等を行った。生徒会委員会と合同による花植え活動を行った。（写真）

また、農業支援員は、特別支援学級生徒及び教職員とともに年間を通して農園の維持管理をしており、生徒が生きた農作物に触れる貴重な機会を提供している。今年度は、特別支援学級の生徒が中心となり、ピーマン、トマト、シントウ、ゴーヤ、大根、さつまいも等の野菜作りに挑戦し、食に対する意識の高揚に寄与することができた。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

コロナの影響で学校応援団の活動が滞っていたが、徐々に活動が増えてきている。学校の校庭や花壇などの至るところが整備されて、とてもきれいになっている。

(2) 課題

より多く活動ができるよう、学校応援団活動を広く周知し、活動に携わる方を増やしていくことが必要である。

令和4年度新座市教育委員会学校支援地域本部

発行日 令和5年3月